

ゲームや体験発表で交流

中央保健所管内○○○

食生活改善推進員ら150人

食生活を通じての健康づくりを進めている食生活改善推進員の交流会が二月二十四日、大森地区公民館で開かれました。

この日は、中央保健所管内の推進員百五十人が参加。南国市からは各地区で活動している三十六人の推進員のほとんどの方が出席。

まず、浜田助役、関一夫中央保健所長、山本和子県食生活改善推進協議会長らがあいさつ。続いて会場を市民体育館に移し、県レクリエーション協会の野島昌子さんの指導で、風船ゲームやフォークダンスなどで楽しく交流を深め、また南国市から民謡、伊野町からは大正琴の演奏なども披露されま

した。

午後からは、南国市と伊野町の食生活改善推進協議会長が体験発表をし、南国市の土居与千代会長は、佐賀県で開かれたリーダー研修会での模様をユーモラスに報告。続いて、昨年十二月「健康づくり婦人研修会」で好評だった、市内駐在保健婦と環境保健課の職員による、成人病予防のための食生活の大切さを訴えた新しい寸劇も演じられました。その後、県予防課栄養班長の宮田福さんが「楽しく食べて健やかに」と題して講演。

集まった推進員さんは、一日楽しく学習、交流し、健康づくりの輪を広げていました。

○＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊○



ユーモラスな寸劇で食生活の大切さを訴えた



伊野町の推進員さんが大正琴を演奏



かわいい花を付け始めたコヒガンザクラ

春はもうそこまで

コヒガンザクラ咲く (高知 高専)

まだまだ厳しい寒さが続く毎日。しかし、春の足音は確実に近づき、早咲きで有名な高知高専のコヒガンザクラが小さなつぼみを開き、かわいいピンク色の花を付け始めました。

高知空港の東隣りにある高知高専には、約八十本あまりの桜が植えられています。そのほとんどがソメイヨシノ。空港へ結ぶ県道沿いの三本が、コヒガンザクラで、昨年はもう一月には花を開き始めた早咲き桜。今年は寒さのためか、二月末でまだ二分咲きといったところ。しかし、青い空を背景に寒風の中、かれんに花開いています。

一日からは「川干」。春はもうそこまで来ています。